



会長挨拶 会長 鈴木孝純君

比率は年齢とともに小さくなるため、体感としての1年は、年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられるようになるということです。

このことは脳のメカニズムからも説明されています。子どもの頃は初めての経験が多く、毎日が新鮮で脳が活発に働き、血流量やエネルギー消費が増加して時間はゆっくりと感じられます。一方、大人になると毎日の繰り返しが多くて新しい経験が減り、脳の活動量が低下することで、感覚的に時間が早く過ぎると感じやすくなるということです。それでは、脳の活動量の低下を防ぐためにはどうしたらよいでしょうか。それは、子どもの頃のように何か新しいことにチャレンジすることが必要です。そして、夢や目標を持ち、挑戦し続けることが脳の活動量を増やすことにつながります。

ここで思い出されるのが、100年以上前のアメリカのサミュエル・ウルマンの「Youth」と題する詩の一部で、『年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いくる』という有名なフレーズです。戦後、松下幸之助氏を始め、多くの日本の財界・実業人がこの詩に触発されて興起し、戦後の高度経済成長期に精神的支柱としました。年齢に関係なく、理想や情熱をもって生きなければならないことは、「ジャンネの法則」を超えて、現在そして未来に啓示している「100年時代の人生戦略」の極意なのではないでしょうか。

今年の会長挨拶は今日で最後ですが、7月から半年間、大変お世話になりました。

来年もご指導ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

11月17日(月)の例会終了後、致道館において、鶴岡西ロータリークラブ創立60周年記念事業の一環として、地域文化の振興と教育への貢献を目的に、鶴岡市へのデジタルサイネージ(電子看板)の寄贈式が行われました。我が西クラブから13名、致道館所有者の鶴岡市からは佐藤聡市長、成澤和則教育長および市教育委員会関係者が出席されました。多くの方々が、東北で建物が唯一現存する藩校・致道館の教育や精神性などについての認識を新たにするとともに、庄内の観光や教育振興に役立つことを願っております。

さて、本年最後の月、12月を迎えましたが、歳を重ねるごとに1年が早く感じることは私だけではないと思います。歳をとるたびに時間の流れが早くなる感覚に関して、「ジャンネの法則」というのがあります。これは19世紀のフランスの哲学者であるポール・ジャンネ氏が発案した法則で、人生における1年の比率の変化において、生涯のある時期を感じる時間の心理的長さは年齢に反比例するというものです。例えば、10歳の人にとっての1年は人生の10分の1ですが、50歳の人にとっての1年は人生の50分の1です。この

鎮魂と希望の音楽祭



幹事報告

鎮魂と希望の音楽祭

12.11 木 鶴岡アートフォーラム
菅井様よりカタログギフト拝受
会津若松 RC 報告の回覧
蔵王の樹氷を守るチャリティー報告



ゲスト 実行委員会 東山先生

幹事報告 小野寺佳克君



表彰 ポールハリスフェロー表彰 長南健君

ロータリーの友読みどころ 佐藤正晴君

臨時総会



クラブ協議会



各委員会より委員会開催状況と、
中間達成報告がありました。

指名委員会より次々々年度会長候補指名
2028-2029 年度 会長候補 芝田 光明
幹事候補 小野寺政一

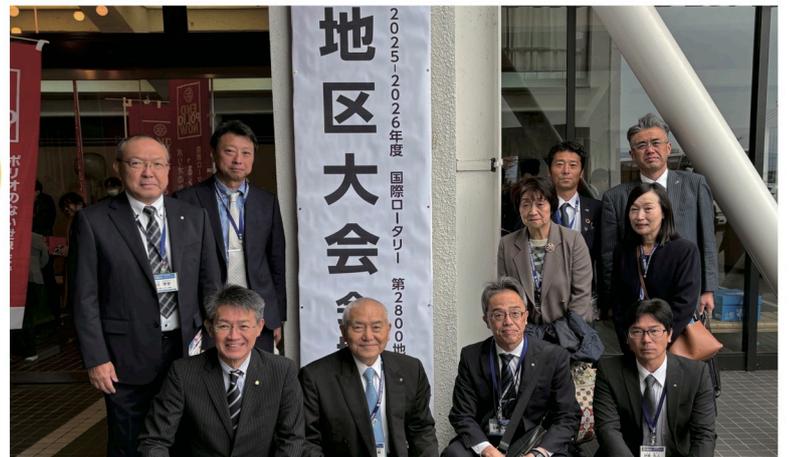
2800 地区 地区大会参加

鎌田昭雄君

指名委員会ではお店をご利用いただき
ありがとうございました。

阿部悦子君

高校時代のバスケ部 7 名で 2 泊 3 日金沢旅行を
満喫してきましたのでスマイルします。
東山先生の寄付の件、一口 5,000 円受付していま
すのでよろしくお願ひします。



出席報告 会員数 32 名 / 出席数 17 名 / 出席率 53.13% / 前々回出席率 43.75% / 修正出席 18 名 / 確定出席率 56.25%